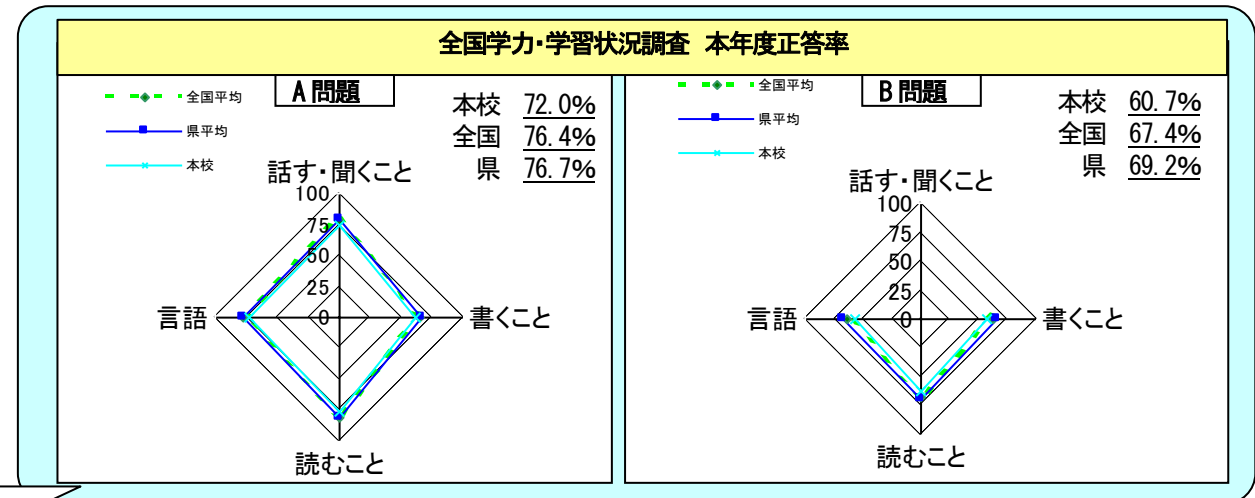
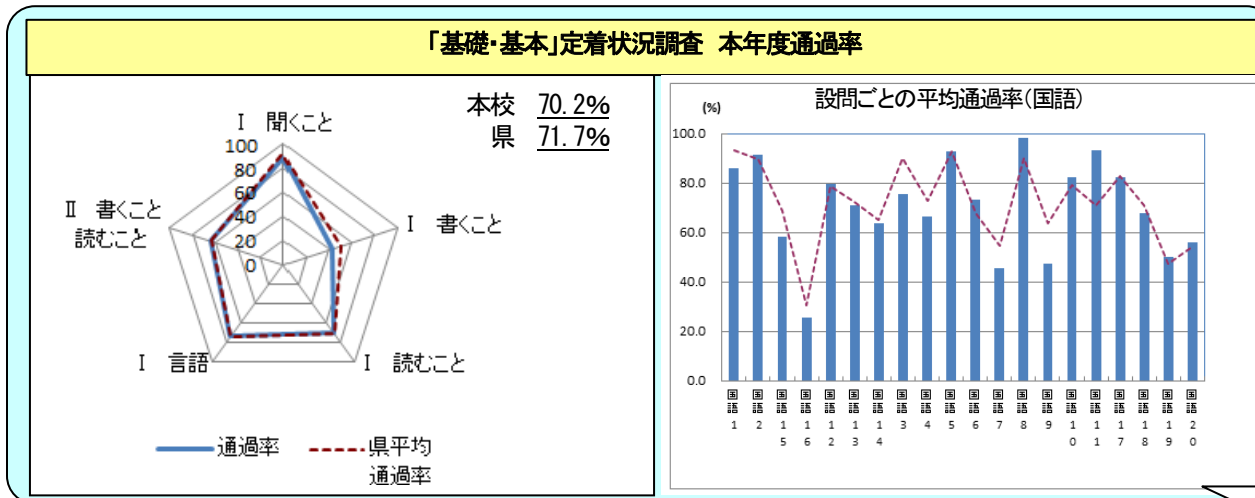


授業改善シート〔国語〕

校番(30) 福山市立新市中央中学校



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎適切な接続詞や主語を補い、条件に従って書き換えたり、根拠をもとに自分の考えを述べるなど書くことに課題が大きい。(書く領域の通過率 41.9%)

◇比喩を用いた表現が表しているものを本文中から抜き出す問題に課題が大きい。(正答率 48.1%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

◎「読むこと」と「書くこと」を関連させ、単元を貫いた言語活動を設定していく。また、理由を述べる際、根拠を挙げるように指導を行う。

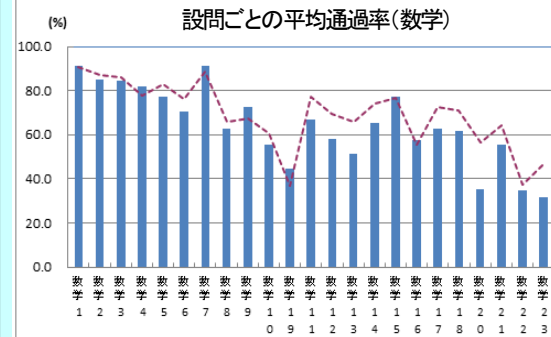
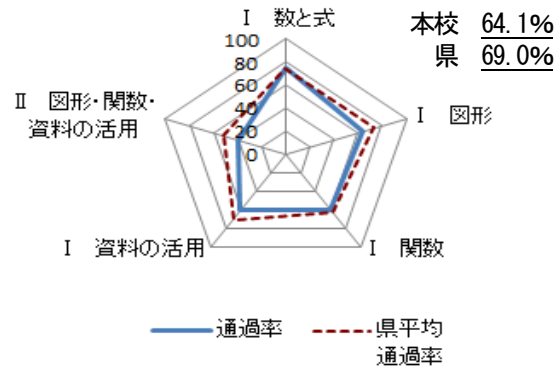
◇知識を定着させるために授業の読み取り作業の中でも表現技法(比喩)の指導を行っていく。また、定期試験を活用し、基礎的な知識を身につけさせる。

検証スケジュール	◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	学年・方法		2学年 中間試験				1・2学年 福山市調査問題	
	目標値		60.0%				65.0% 65.0%	
	実施後数値		59.3%					
	◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	学年・方法		3学年 中間試験			3学年 学年末試験		1・2学年 学年末試験
目標値		60.0%			65.0%		55.0% 60.0%	
実施後数値		67.5%						

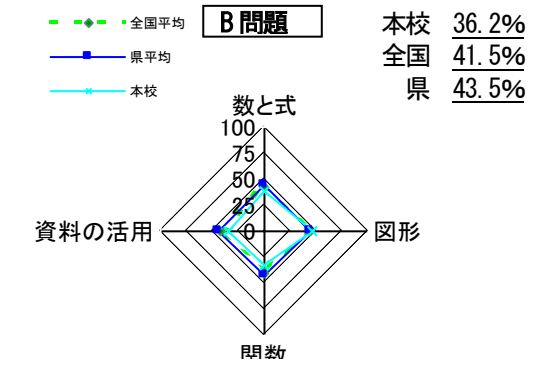
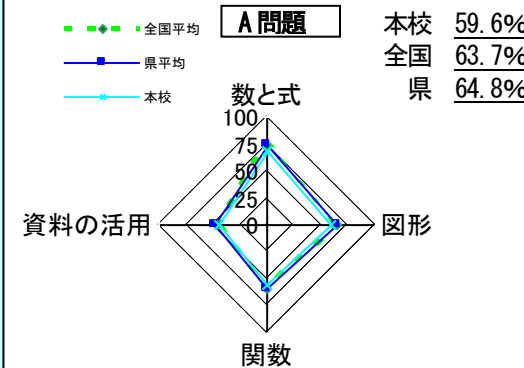
授業改善シート [数学]

校番(30) 福山市立新市中央中学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎空間図形の位置関係を把握できていない。30%の生徒が垂直な関係を分かっていない。(通過率 49.3%)
- ◇関数の意味が理解できていない。yがxの関数であるものが見つけられない生徒が多く、直方体の体積 $y \text{ cm}^3$ が底面積 $x \text{ cm}^2$ の関数であると答えた生徒が 32.3%いる。(正答率 10.8%)

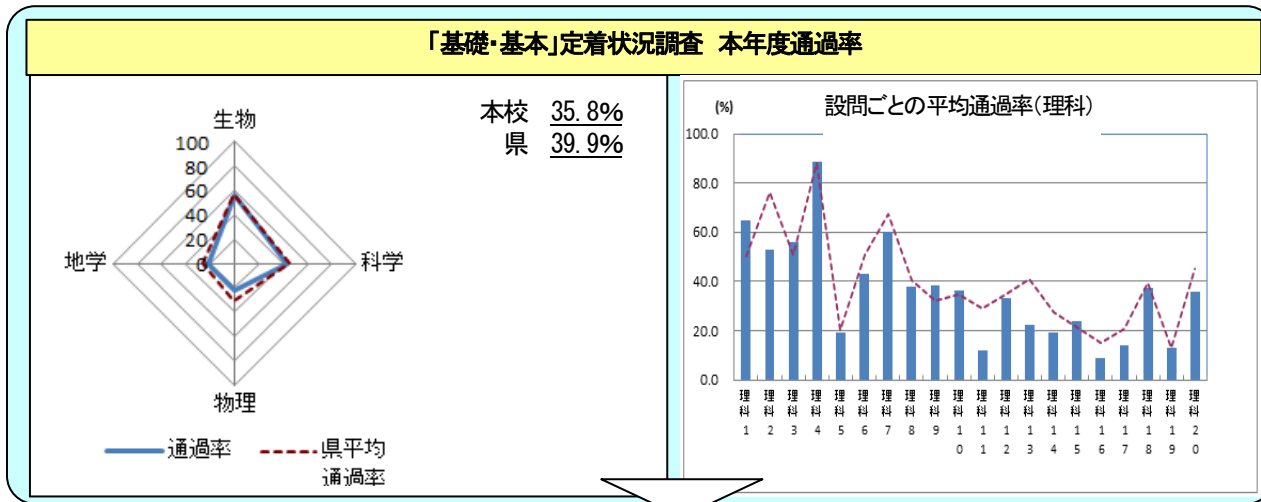
重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎立体の提示などで図形の位置関係を確認する。また、生徒に立体を操作させ、理解できるようにする。
- ◇関数の意味を正しくとらえるために、具体的な数値を問題にあてはめて考えさせる。関数であるものを選ぶ問題では、関数であるかどうかを予想させ、一人ひとりの生徒が実感をともなった理解ができるようにする。

検証スケジュール	◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	学年・方法			2学年 H25「基礎・基本」			1年生 福山市調査問題	1・2年生 学年末試験
	目標値			55.0%			60.0%	65.0% 65.0%
	実施後数値			62.5%				
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	学年・方法		3年生 H25 全国学力		2・3年生 H25 全国学力			
	目標値		25.0%		20.0% 35.5%			
	実施後数値		32.5%		68% 53.3%			

授業改善シート〔理科〕

校番(30) 福山市立新市中央中学校



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

◎①地学分野において堆積岩の種類や生成の特徴を押さえられていない。(通過率 8.8%)

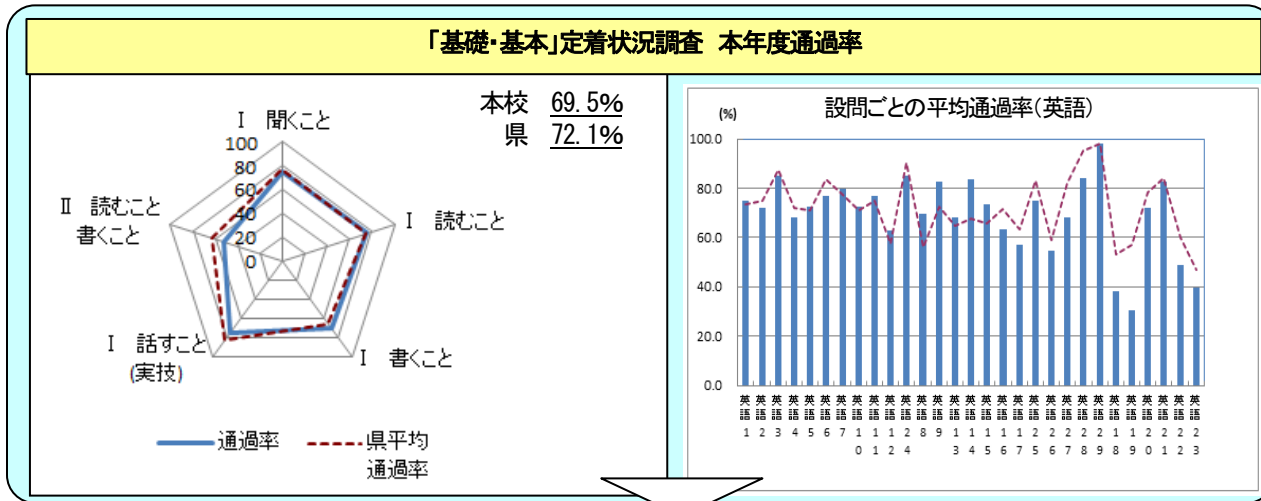
◎②実験結果から考察しまとめる力が弱い。(通過率 23.6%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

◎①地層の成因や堆積環境を根拠に堆積岩の種類を整理させる指導を行う。

◎②理科で使う科学的用語の意味をしっかりと理解させ、必要な用語を使って実験の考察をまとめさせる指導を行う。

検証スケジュール	◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月 2学年 H25「基礎・基本」	12月	1月	2月 1学年 H25「基礎・基本」	3月 1学年 学年末試験
	学年・方法							
	目標値			40.0%			40.0%	45.0%
	実施後数値			43.8%				
	◎「基礎・基本」②	9月	10月 1・2学年 中間試験	11月	12月 1・2学年 期末試験	1月	2月	3月 2学年 学年末試験
	学年・方法							
目標値		40.0% 40.0%		45.0% 45.0%			50.0%	
実施後数値		45.0% 37.0%		45.65% 55.5%				



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

◎①英語の文章を読んで必要な情報を取り出して、その情報をもとに自分の考えを英語で書くことに課題がある。(通過率 30.2%)

◎②情報を正しく聞きとることに課題がある。
” day ” と ” date ” のようなよく似た音声や意味の違いを理解できていない。(通過率 54.0%)

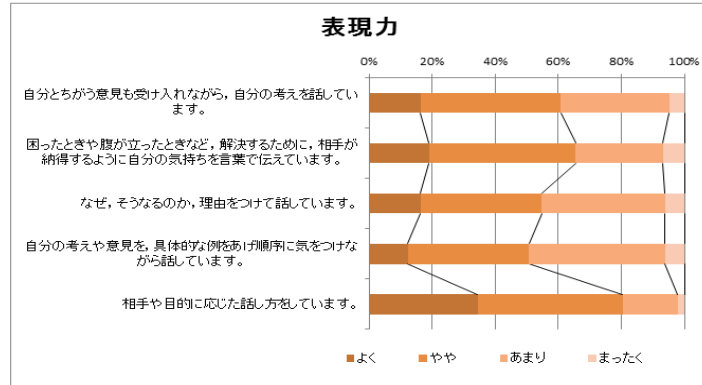
重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

◎①教科書の本文 (対話文等) を用いて、与えられた情報に自分の考えや気持ちを加えた英文を作る活動を仕組む。

◎②あいさつや帯活動の Q&A の中に、ペアワークを取り入れる。

検証スケジュール	◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	学年・方法		1・2年生 中間試験	1・2年生 「基礎・基本」類似問題	1・2年生 期末試験	1・2年生 H25「基礎・基本」	1・2年生 福山市調査問題	1・2年生 学年末試験
	目標値		40.0% 45.0%	45.0% 50.0%	45.0% 50.0%	50.0% 55.0%	55.0% 60.0%	60.0% 60.0%
	実施後数値		37.5%・43.1%	50.2%(1)・60.1%	40.2%・45.2%	52.4%		
	◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	学年・方法			1・2・3年生 「基礎・基本」類似問題		3年生 「基礎・基本」類似問題	1・2年生 福山市調査問題	
	目標値			60.0% 60.0% 65.0%		70.0%	65.0% 65.0%	
	実施後数値			62.5%(1)・75.3%(2) 66.5% (3)		62.8%		

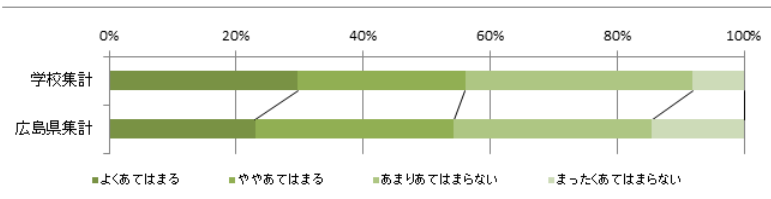
(1) 生活・学習



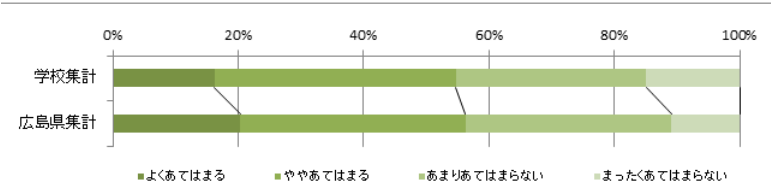
	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	「なぜ、そうなるのか、理由をつけて話しています。」(54.7 県差-10.1) 等表現力に課題がある。(62.4 県差-6.7)	授業においては、理由づけが必要な発問を行う。また、書く活動においても相手に伝わりやすい表現の指導を行う。	2	理由 60.0% 表現力 65.0%	アンケート調査	3月		
全国	普段(月～金曜日)、家での一当たりの勉強時間が少ない。(2時間以上35.2%)	目標をもたせて、意欲を高める。家庭学習時間調査を継続して行い、その結果を毎月掲示する。	3	45.0%	アンケート調査	12月	41.9%	+6.7%

(2) 教科

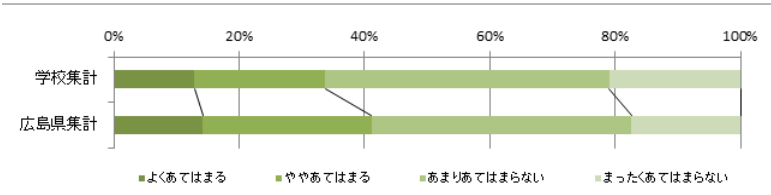
国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



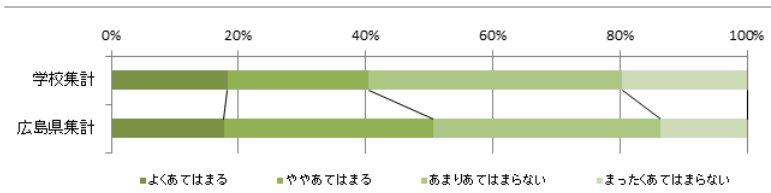
数学の授業では、文章に書かれている関係を式で表すために、絵や図、数直線、言葉の式などを使って考えています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本	分からない言葉や漢字は辞書を使って調べる生徒が少ない。(54.4%)	2	65.0%	アンケート調査	3月		
	全国	意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している生徒が少ない。(51.7%)	3	60.0%	アンケート調査	12月	62.9%	
数学	基礎・基本	文章に書かれている関係を式で表すために、絵や図、数直線、言葉の式などを使って考える生徒が少ない。(56.3%)	2	65.0%	アンケート調査	3月		
	全国	図形の証明について学習するとき1つの図だけでなく、いくつかの図について証明したことが成り立つかどうかを調べるようとしていない。(43.7%)	3	50.0%	アンケート調査	12月	43.3%	
理科	基礎・基本	自分の考えを説明したり発表する生徒が少ない。(33.7%)	2	60.0%	アンケート調査	3月		
英語	基礎・基本	自分の考えや気持ちを話そうとする意欲が低く、また、どのように英語で表現すればよいのか理解していない。(40.0%)	2	50.0%	アンケート調査	3月		